



# 学校通信

令和元年度 臨時号  
令和元年11月26日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部良美

## 令和元年度学力調査の結果

今年度の調査結果をお知らせします。調査結果を分析し、全教員で授業改善プランを作成し、授業改善に取り組んでいます。

### 1 6年 全国学力・学習状況調査 平成31年4月18日実施

#### (1)国語 (平均正答率：%)

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
本校	62.7	77.3	58.3	85.7	58.4	68.0
東京都	57.2	73.1	55.4	83.0	55.7	65.0
全国	57.6	72.3	54.5	81.7	53.5	63.8

どの観点においても、都平均・全国平均を上回りました。

特に「話す・聞く能力」では、都平均・全国平均を大きく上回る数値を得られており、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」「目的に応じて質問を工夫する」問題において高い正答率が見られました。

また、「言語についての知識・理解・技能」でも、同様の数値が得られました。「文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」問題において、全国平均より11ポイント以上上回りました。

しかし、「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使う」問題では、都・全国平均とほぼ同数となりました。文の意味や文脈の中で、正しい漢字を使うことができるよう、繰り返し指導していきます。

#### (2)算数 (平均正答率：%)

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
本校	70.6	78.5	76.5	74.0
東京都	65.5	77.2	72.7	70.0
全国	62.2	73.6	70.1	66.6

全ての内容が東京都及び全国平均正答率を上回りました。「数学的な考え方」においては、平均正答率は70.6%で、都平均5.1ポイント、全国平均を8.4ポイント上回りました。「数量や図形についての技能」においては、平均正答率は78.5%で、都平均1.5ポイント、全国平均を4.9ポイント上回りました。「数量や図形についての知識・理解」においては、平均正答率は76.5%で、都平均3.8ポイント、全国平均を6.4ポイント上回りました。

設問別正答率で課題がみられた内容は、問題文中に示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明について記述する問題です。都平均を1.5ポイント下回りました。(全国平均は3.1ポイント上回りました。)また、「 $6+0.5\times 2$ 」のように、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題では、都平均を2.5ポイント下回りました。(全国平均は2.9ポイント上回りました。)  
「数と計算」「量と測定」及び「数量関係」の内容理解や技能定着に課題がある項目がいくつかありました。

問題解決をする過程で書き表した式表現に着目させて「考え方」を読み取らせる活動を授業に取り入れ、基礎学力を定着させる指導時間を計画的に設定したりするなどして、課題となった学力を身に付けさせます。

## 2 5年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査 令和元年7月4日実施

### (1) 国語 (正答率：%)

	話す・聞く	書く	言語	読む	国語全体
本校	72.0	73.8	66.4	71.4	69.9
東京都	65.3	70.4	67.4	67.4	67.6

「言語」以外の項目において、東京都の平均を上回りました。特に「話す・聞く」では、東京都の65.3に比べ、72.0と正答率が高く、話し合いの進め方や意見が対立した時の進め方などが概ね理解できており、昨年度の校内研究の成果が出ていると考えます。

唯一平均を下回った「言語」については2つの課題が見つかりました。文の中の主語と述語、修飾語が何を修飾しているのかという問題と漢字の読み書きです。低学年での「文の中における主語と述語の関係に注意すること」や、中学年での「修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと」について復習が必要です。ぐんぐんタイムなどを使って、今まで学んできたことを復習する時間を設けたり、文章の主語と述語の関係に注目させたりして指導していきます。また、漢字学習などの家庭学習を通して定着を図ります。

### (2) 社会 (正答率：%)

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	社会全体
本校	65.4	69.7	73.8	69.4
東京都	63.5	66.8	70.6	66.7

全ての項目において、東京都の平均を上回りました。知識・理解の問題では、正答率が70%を超えており、都道府県や東京都内についての知識が身に付いています。

資料を読み取る力に課題が見られました。図や表、文の資料から読み取り間違いがありました。それぞれの特性を今一度確認することともに、複数の資料を関連付けて考える時間を設定していきます。

### (3) 算数 (正答率：%)

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	算数全体
本校	52.5	71.6	69.5	65.2
東京都	47.2	65.0	67.6	60.1

全ての項目において、東京都の平均を上回りました。技能の問題では、正答率が70%を超えており、計算のきまりやコンパスを使い長さを写し取る技能が身に付いています。

思考・判断・表現では、東京都を上回りましたが、正答率が50%ほどでした。比例の問題や表から数の変化の規則性を見つける問題などに課題が見られましたので、ぐんぐんタイムなどで東京ベーシックドリル等の問題に取り組んでいきます。

### (4) 理科 (正答率：%)

	思考・判断・表現	技能	知識・理解	理科全体
本校	55.9	67.9	57.1	58.9
東京都	53.0	67.0	55.0	56.8

全ての項目において、東京都の平均を上回りました。観察・実験の約束が守られ、実験道具の正しい使い方が身に付いています。

思考・判断・表現と知識・理解では、東京都を上回りましたが、正答率が50%台でした。科学的な思考・表現に課題が見つかりましたので、実験結果だけでなく予想や考察する時間も十分確保した授業をさらに充実させていきます。

### 3 児童の意識調査から(調査結果の一部)

#### 6年生

##### (1) 自分のよいところ(自己肯定感)(他者肯定感)

「自分にはよいところがありますか」の問いに、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と75%の児童が答えました。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いに、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と81%の児童が答えました。

本校では、「子供一人ひとりに、誇りと自信をもたせる全員経営の学校」を学校経営の基本とし、「みんなの子供をみんなで育てる」を合言葉に、全教職員が子供のよさを発見・褒める継続的な取り組みを行っています。また、学校・学年・学級において、自分や友達のよさに気付かせる取り組みや声掛け等も継続して行っています。今後も学校全体での取り組みを継続して行い、児童の自己肯定感・他者肯定感を育んでいきます。ご家庭でも同じように認め、励ます言葉掛けをしてくださるようお願いいたします。

##### (2) 地域との関わり・地域の行事への参加

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いに、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と51%の児童が答えました。

本校では、今年度より練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、「社会に開かれた教育課程、探究的な学びの充実」を研究テーマに設定し、授業研究に取り組んでいます。主に生活科や総合的な学習の時間の研究授業を通して、地域の「人、もの、こと」にかかわる探究的な学習の在り方を教員全体で学んでいる途上です。学習過程を作る中で、地域の方や講師の先生をお呼びしたり、実際に現地に行ってお話を聞いたりしながら学びを深める機会を設定していますが、まだまだ十分とは言えません。今後、地域の「人、もの、こと」との接点をさらに多く作っていくことで、地域への理解や知識を広げ、自分の地域に愛情をもつことができるようにしていきたいと思えます。ご家庭でも、お子さんに地域の行事やボランティア等への参加などの声掛けをお願いいたします。

##### (3) 授業における ICT 機器の活用

「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどの ICT をどの程度使用しましたか」の問いに、「月に1回未満」と66%の児童が答えました。

本校では、昨年度より書画カメラを高学年から取り入れ、授業で活用するようにしています。また、今年度の2学期より全教室に大型テレビと書画カメラ、パソコンが導入されました。今後も学習に効果的に活用し、分かりやすく楽しい授業を進められるよう、ICT 機器の整備・活用に取り組んでいきます。

また、各教科等での調べ学習や発表資料を作成する際はパソコンソフトを積極的に活用し、児童に基本的な操作技術を身に付けさせていきます。

#### 5年生

##### (1) 自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか。・・・57.9%(そう思う)

「自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか」の問いに「そう思う」57.9%、「どちらかといえばそう思う」34.6%の児童が答えました。

今年度、本校では校内研究で地域との関わりに関する研究を行っています。5年生は、福祉に関して学習を行っており、地域の老人ホームと関わらせていただいています。今後も、地域の方や施設と連携した学習をし、開三小の児童からも自分の住む地域や社会をよくしていけるように指導していきます。

##### (2) 学校のきまりを守ることが大切だと思いますか。・・・83.2%(そう思う)

「学校のきまりを守ることが大切だと思いますか」の問いに「そう思う」83.2%の児童が答えました。

開三小では、「開三小の学校のきまり」を全校に配布し、年度初めに児童と確認することで全員が同じルールに則って学習・生活していけるよう指導しています。名札をつけること、休み時間のきまり、時間を守ることなどの日々の生活において児童に継続して指導していきます。きまりをまもることとはなぜ大切なのか、守ることでどんなよさがあるのかを確認し、来年度は最高学年として全校の手本になることを意識させて実践力を育んでいきます。

(3) 毎日読書をどのくらいしますか。・・・30分以上読書する児童が63.5%

「毎日読書をどのくらいしますか」の問いに「2時間以上」14.0%、「1時間以上2時間未満」21.5%、「30分以上1時間未満」28.0%の児童が答えました。

開三小では、朝の時間に読書タイムを設定したり、国語の時間に学校図書館で読書したりしています。また、春と秋の読書旬間に合わせて、小竹図書館からたくさんの本を借りていろいろな本に触れる機会を作ったり、図書支援員さんと連携してブックトークをしたりして読書の推奨をしています。こういった取り組みを続けて様々な本と出会う機会を増やしていきます。